

よこはま保健医療プラン2024策定に向けた検討状況について

令和6年度から11年度までの6年間の計画期間とする次期「よこはま保健医療プラン」策定に向けた検討状況について、御報告いたします。

1 よこはま保健医療プラン策定検討部会

横浜市保健医療協議会の専門部会として、有識者、関係団体等からなる「よこはま保健医療プラン策定検討部会」を設置し、検討を進めています。

(1) 開催概要

	第1回	第2回
開催日時	令和4年10月31日(月)	令和5年1月30日(月)
議題	1 部会の進め方について 2 「よこはま保健医療プラン2024」の検討に向けた意見交換 3 横浜市民の医療に関する意識調査(案)について	(報告事項) 1 横浜市民の医療に関する意識調査結果報告(速報) (議題) 1 「よこはま保健医療プラン2024」の骨子イメージ(案)

(2) 検討の結果

- ア 横浜市民の医療に関する意識調査の調査結果(速報版)について、報告があった。
- イ 骨子イメージ案について、意見交換を行った。
- ウ 国が令和5年3月末に発出予定の次期医療計画作成指針等を踏まえ、令和5年度前半に素案について議論を行う。

(3) 主な議事概要

- ・ 次期プランの計画期間中に2025年を迎えるが、団塊ジュニア世代が65歳以上となり働き世代が減少する2040年を見据えた計画となるとよい。
- ・ 引き続き、医療従事者の確保やタスクシェア・タスクシフトが重要な課題である。
- ・ 人生の最終段階の医療・ケアに関する、本人の意思決定支援の推進が重要である。
- ・ 各疾病や事業における歯科や薬局の関わりについて盛り込んでいく必要がある。
- ・ 小児医療について、さらなる充実が必要である。救急受入病院に負担がかかっている、夕方や土日の診療所で受診できない時間帯をいかに減らすか、診療所や病院で議論していく必要がある。
- ・ 地域を見ていると、コロナ禍で外出機会が減り、運動機能の低下や気力がなくなってしまった人も多いように感じる。
- ・ 横浜市の他の関連計画とよこはま保健医療プランの両方に記載していく取組についてどこでどう評価していくのか整理する必要がある。

2 次期プランの骨子イメージ案

今後、国が示す「医療計画作成指針」等を踏まえつつ、本市の実情に即したプランとなるよう、検討を進めます。なお、現時点では国の指針が発出前の段階のため、骨子イメージ案としています。

【骨子イメージ案】

I プランの基本的な考え方(位置付け、基本理念) 本市の保健医療施策に関する総合的な計画として、引き続き、本市独自に策定します。		
II 横浜市の保健医療の現状 (人口構造、人口動態、市民の受療行動、医療提供施設の状況 等) 本市の現状を示すデータを中心とする部分で、項目については、令和5年3月に国から示される「第8次医療計画作成指針」に準じる予定です。		
III 横浜市の保健医療の目指す姿「2040年に向けた医療提供体制の構築」 2024～2029年度の6年間の計画期間としますが、その先の団塊ジュニア世代が65歳以上となり働き世代が減少する2040年を見据えた計画となるよう、章立てする予定です。		
・デジタル時代にふさわしい医療政策の推進 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 「横浜市中期計画2022～2025」では、政策17「医療提供体制の充実」の主な施策に位置付けており、次期プランでも重要な施策として記載する予定です。 </div>		
・医療提供体制(市立・市大・地域中核病院等を基幹とする本市の医療提供体制)		
・2040年に向けた医療提供体制の構築(地域医療構想の実現)		
・患者中心の安全で質の高い医療を提供する体制の確保(医療安全対策等)		
・地域包括ケアの推進に向けた介護等との連携強化		
IV 主要な疾病(5疾病) ・がん ・脳卒中 ・心血管疾患 ・糖尿病 ・精神疾患	V 主要な事業(5事業)・在宅 ・救急医療 ・災害時医療 ・周産期医療 ・小児医療 ・ 新興感染症等の感染拡大時における医療【新規】 ・在宅医療	VI 主要な保健医療施策 ・感染症対策 ・難病対策 ・アレルギー対策 ・認知症疾患対策 ・障害児・者の保健医療 ・歯科口腔保健 ・生活習慣病予防の推進
VII 計画の進行管理等		

3 「横浜市民の医療に関する意識調査」結果報告（速報）

かかりつけ医の有無や医療に対する満足度など、次期プラン策定の基礎とするため、「横浜市民の医療に関する意識調査」を実施しました。

調査対象：18歳以上の横浜市民3,000人（住民基本台帳からの無作為抽出による）

調査期間：令和4年11月22日～令和4年12月21日

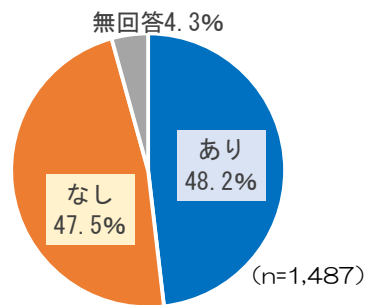
調査方法：郵送配布、郵送・インターネット回答

有効回答数：1,487票（有効回答率 49.6%）【内訳：郵送1,072票、インターネット415票】

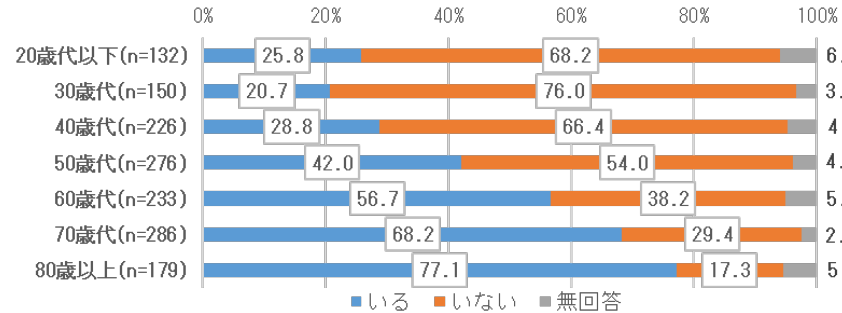
①かかりつけ医の有無について

前回調査とほぼ同様に、約半数が「あり」。年齢が高くなるにしたがってその割合は大きくなる。

かかりつけ医の有無



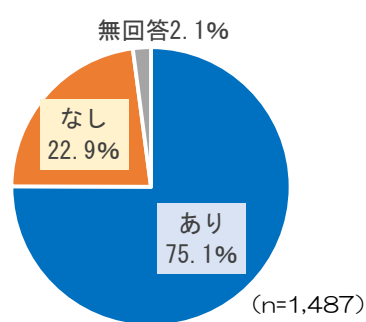
【年代別】かかりつけ医の有無



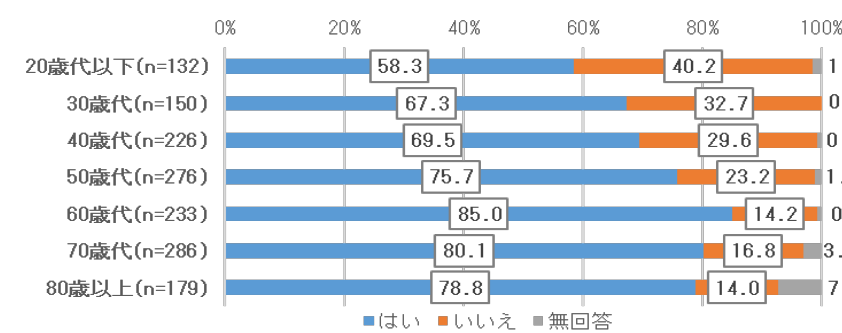
②かかりつけ歯科医の有無について

前回調査とほぼ同様に、約4人に3人が「あり」。いずれの年代も「あり」の方が多い。

かかりつけ歯科医院（診療所）の有無



【年代別】かかりつけ歯科医院（診療所）の有無

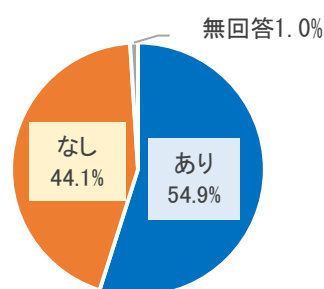


③かかりつけ薬局の有無、お薬手帳の活用について

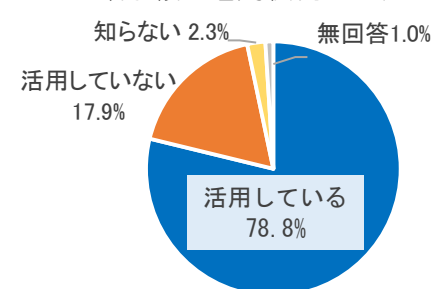
54.9%がかかりつけ薬局を「決めている」と回答（前回比+3.4ポイント）。

78.8%がお薬手帳を「活用している」と回答（前回比+4.8ポイント）

かかりつけ薬局の有無 (n=1,487)



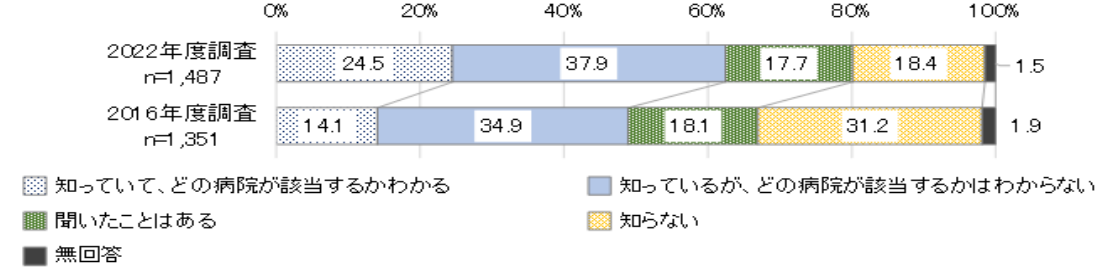
お薬手帳の活用状況 (n=1,487)



④病院の役割分担の認知状況について（急性期病院、回復期リハビリテーション病院、療養を担う病院）

24.5%が「知っている、どの医療機関が該当するかわかる」と回答。（前回比+10.4ポイント）

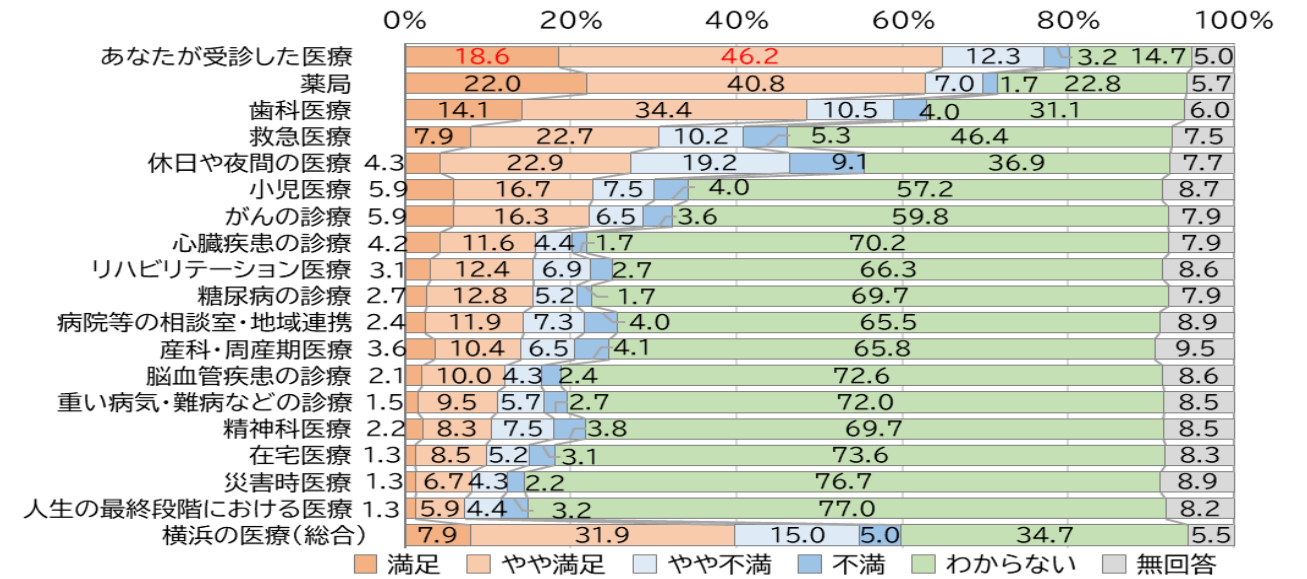
病院の役割分担の認知状況



⑤医療に関する満足度について

「あなたが受診した医療」では、「満足」「やや満足」の合計が64.8%（前回比+7.1ポイント）。

横浜市の医療などの満足度 (n=1,487)



4 検討スケジュール

